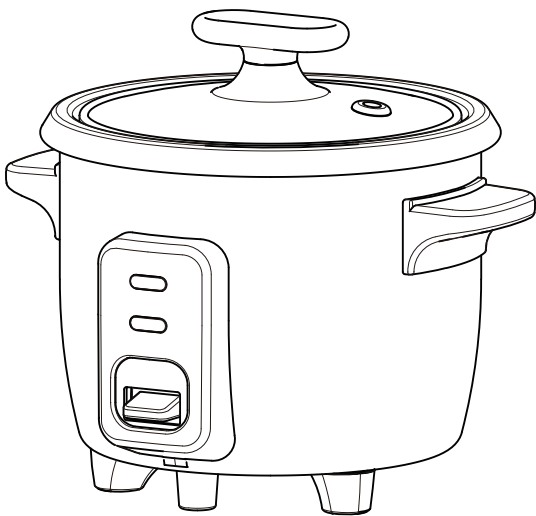


コンパクト炊飯器 RCZ-021

取扱説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	 P. 4
使用前の準備	 P. 5
正しい使いかた	 P. 6～8
玄米を炊く場合	 P. 9
お手入れと保存	 P. 10
修理・サービスを依頼する前に	 P. 11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

型 名	RCZ-021
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	200W
炊飯容量	0.5 ～ 1.5 合 (0.09 ～ 0.27L)
電源コード長さ	約 1 m
外形寸法	約 幅 19.6× 奥行 17.6× 高さ 17.4 cm
質 量	本体 約 790g 付属品を含め 約 980g
付 属 品	ガラスふた、しゃもじ、計量カップ、取扱説明書、保証書

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘ は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘ の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	● は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

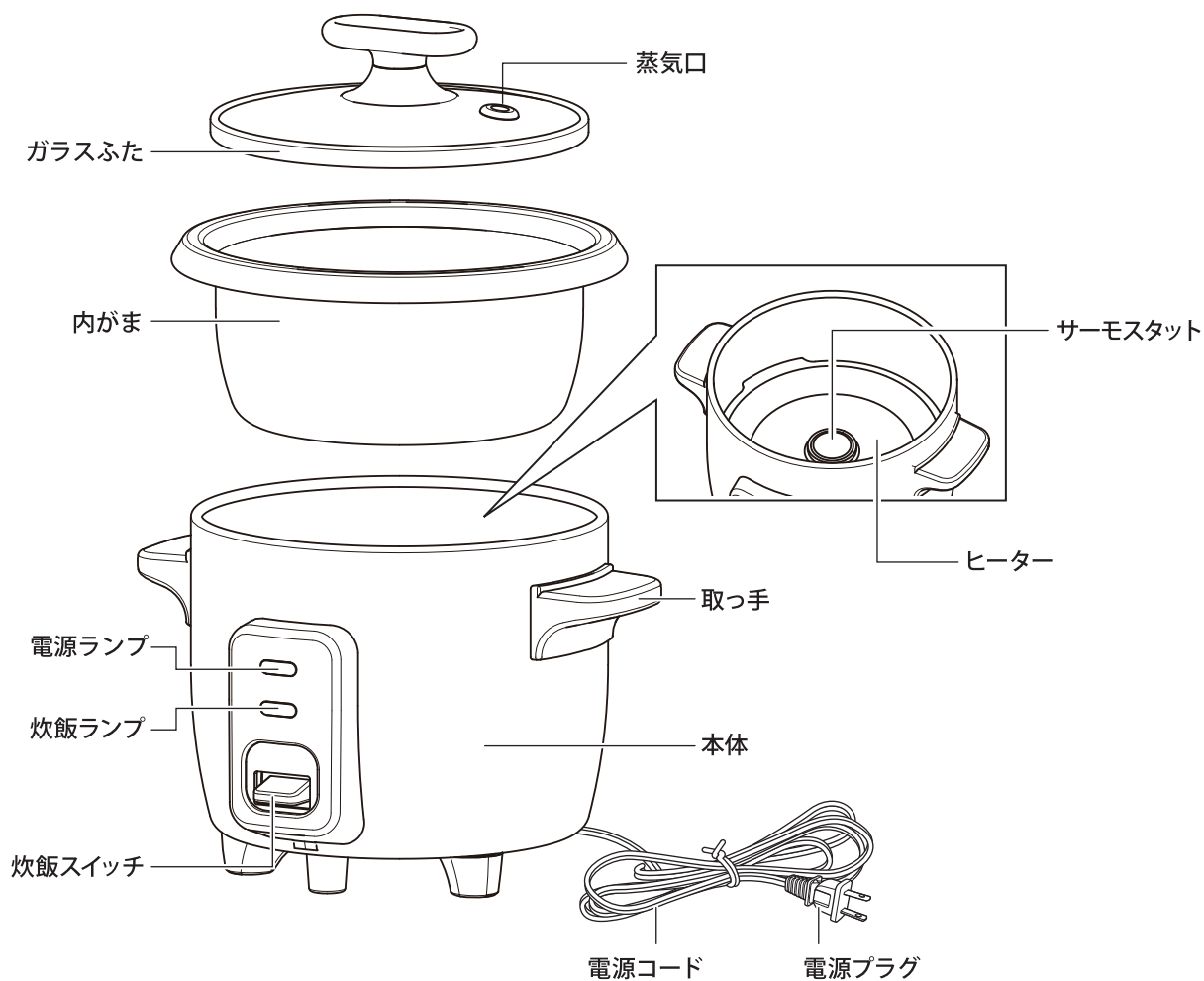
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	空だきをしない。 故障の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 火災・やけど・故障の原因になります。
	使用中や使用直後はガラスふたや蒸気口に顔や手、電源コードを近づけない。ガラスふたを開けたり、持ち運んだりしない。 やけど・火災・感電の原因になります。		お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源プラグをコンセントに差ししたまま本体を移動させない。 やけど・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
	業務用として使用しない。調理以外に使用しない。 本製品は家庭用の調理用として設計・製造されています。故障や異常動作の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	1.5CUP目盛りよりも多く内がまに水を入れない。 やけど・火災・感電・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

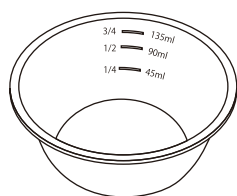
注意

 禁止	炊飯以外の用途で使用しない。冷めたごはんの再加熱などを行わない。 故障の原因になります。	 禁止	金属製のへらやスプーンを使用したり、食器など硬いものを内がま内に入れない。 塗装の剥げ落ち・傷つき・変形・故障の原因になります。
	蒸気口から出る蒸気が直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変色・変形の原因になります。		本体の底面にある通気口をふさがない。 故障の原因になります。
	可燃物の近く・熱に弱い敷物の上で使用したり、使用中にふきんをかけたりしない。 火災の原因になります。		炊飯スイッチを物を使って押したりしない。 故障の原因になります。
	不安定な場所、水平ではない場所では使用しない。 本体の落下による故障・破損の原因になります。水平ではない場所で使用すると、炊き上がり結果に大きく影響します。	 指示	通常環境以外で使用しない。 沸点が低くなる標高の高い場所では正しく調理できません（芯が残ったりすることがあります）。
	水のかかる場所、火気・熱源の近く、直射日光のあたる場所には設置しない。 火災・感電・変形や故障の原因となります。		お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてから行なう。 やけどの原因になります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。
	食器洗浄機・乾燥機を使用しない。 内がまのフッ素樹脂塗装の剥げ落ち・傷つき・変形の原因になります。		
	本体のサーモスタット・ヒーターの上に内がま以外のものをのせたり触れたりしない。 やけど・感電・故障の原因になります。		

各部の名称とはたらき



付属品



計量カップ



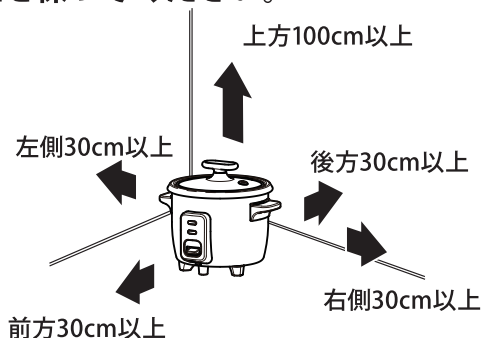
しゃもじ

使用前の準備

1. 本体を水平な安定した耐熱性のある場所に設置する

特に蒸気口から出る蒸気が周囲のものに当たらないように設置してください。

本製品は壁や周囲のものから適当な距離を保ってください。

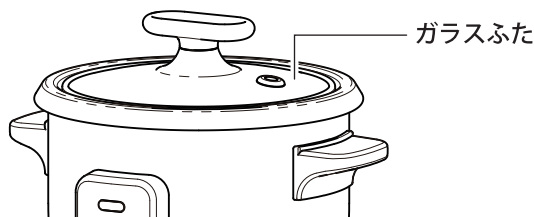


本製品の設置は以下の点に注意してください。

- ・本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから30cm以上離して設置してください。
- ・蒸気口を壁、家電製品、家具、カーテンなどに向けないでください。
- ・近くには携帯電話、パソコンなど湿気・熱に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。

2. ガラスふたを開ける

- ① 本体上部のガラスふたをはずします。
- ② 本体より内がまを取り出し、十分に洗ってください。

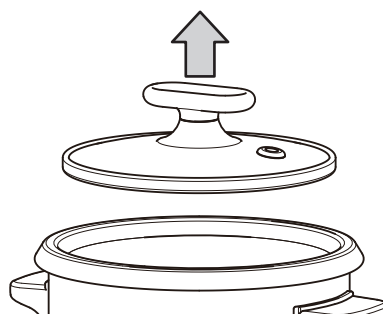


3. 初めて使用するときや前回使用から時間が経過しているときは、内がまを取り出し、内がまとガラスふたを洗う

内がまを取り出して、内がまとガラスふたを丸洗いしてください。

4. 内がまとガラスふたから十分に水分を拭き取り、乾燥させる

まわりに付いた水分を十分に拭き取り、乾燥させてください。



注意

- ・洗うときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
内がまのフッ素樹脂塗装のキズ・摩耗・剥離の原因になります。
- ・内がまが濡れたまま本体に戻さない。
故障・感電の原因になります
- ・食器洗淨機・乾燥機を使用しない。

正しい使いかた

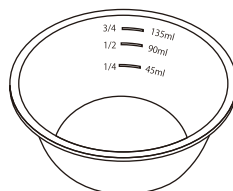
ごはんを炊く(白米の場合)

1. 米を計量してボウルに入れる

付属の計量カップを使用して、炊く分の米をボウルに入れてください。

最大1.5合、最少0.5合の範囲で炊いてください。

- ・計量カップのすりきり1杯が約1合です。
- ・計量カップの目盛を参考に米を入れてください。



計量カップ

2. 米を洗う(米を研ぐ)

米を入れたボウルに水を入れて米を洗って(研いで)ください。



注意

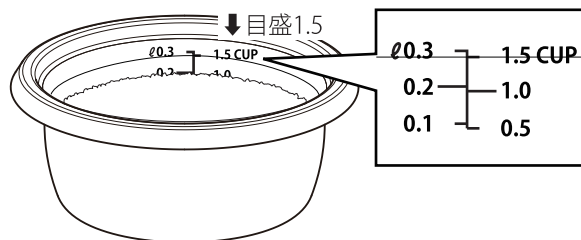
- ・内がまで米を洗わない(研がない)。
内がまのフッ素樹脂塗装の摩耗などの原因になります。
- ・お湯で米を洗わない(研がない)。
米に対して悪影響を与え、おいしく炊けなくなる原因になります。

3. 水を切って、ボウルから内がまに移して水位目盛に合わせて水を入れる

米を内がま内に平らにならし、水位目盛に合わせて、水を入れてください。

- ・水加減により、炊き上がりの硬さを変えることができます。

(例) 1.5カップを炊く場合



例:1.5カップの米を炊くときは、水位目盛1.5まで水を入れる。



警告

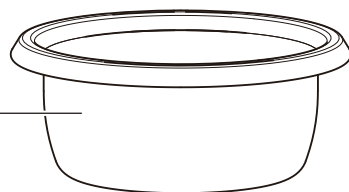
- 1.5CUP目盛よりも多く内がまに水を入れない。
やけど・火災・感電・故障の原因になります。

4. 内がまのまわりに付着した水分や米粒などを拭き取って本体内部へ戻す

内がまを本体に戻すときは、まわりに付いた水分、米粒などを十分に拭き取ってください。

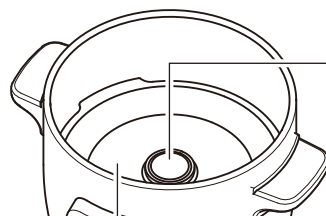
ヒーターとサーモスタットに米粒などが付着していたら必ず取り除いてください。

内がま



警告

- ・内がまが濡れたまま本体に戻さない。
故障・感電の原因になります。
- ・内がまの外周やヒーターとサーモスタットに米粒が付着したまま内がまを本体に戻さない。

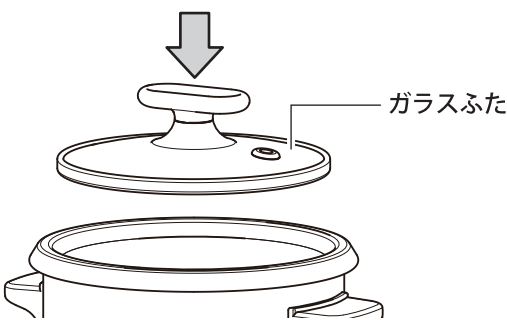


サーモスタット

ヒーター

5. ガラスふたを閉じる

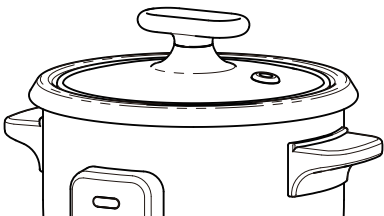
ガラスふたは内がまとの間に隙間ができないよう、水平に置いてください。
・炊く前に30分間浸水させてください。



6. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源ランプ（オレンジ色）が点灯します。

 警告	本機では電源プラグをコンセントに差し込むと、そのまま電源が入った状態になるため、十分に注意する。 切り忘れや火災の原因になります。
--	--



7. 炊飯を開始する

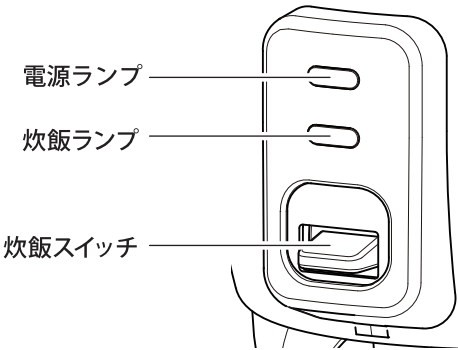
 警告	空炊きはしない。 火災の原因になります。
--	-------------------------

本体の炊飯スイッチを押すと、炊飯ランプが赤色に点灯し（電源ランプは消灯）、炊飯を開始します。

8. 炊き上がり

炊き上がると、自動で炊飯スイッチが上がり、炊飯ランプが消灯し、電源ランプが点灯します。
・炊き上がってからすぐにガラスふたを開けず、10～20分程度蒸らしてからガラスふたを開けてほぐしてください。

 注意	・ガラスふたを開けるときの出てくる水蒸気に十分気を付ける。 やけどの原因になります。 ・ガラスふたの裏にたまる水滴にも注意する。 水滴が多いときは前もってタオルなどで拭き取れるようにしておいてください。 ・金属製のスプーンなどを使用しない。 内がまのフッ素樹脂塗装に傷をつけてしまうため、絶対に使用しないでください。
--	--



炊き上がりまでの時間の目安

最小炊飯容量 (0.5合)	最大炊飯容量 (1.5合)
約15分	約25分

※蒸らし時間は除く。
・時間は炊飯を始めてから炊き上がるまでの時間です。
・炊飯時間やおこげの量は、気温、水温、水量、米の種類、新米・古米などの条件により変化します。

正しい使いかた（つづき）

9. 電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから電源プラグを抜くことで電源が切れます。

- ・お手入れは十分に温度が下がってから行なってください。



使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
長時間接続は火災・故障の原因になります。

玄米を炊く場合

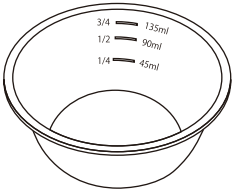
玄米を炊く

1. 玄米を計量してボウルに入れる

付属の計量カップを使用して、炊く分の米をボウルに入れてください。

最大1合、最少0.5合の範囲で炊いてください。

- ・計量カップのすりきり1杯が約1合です。
- ・計量カップの目盛を参考に米を入れてください。



計量カップ

2. 玄米を洗う

玄米を入れたボウルに水を入れて玄米を軽く2～3回洗ってください。



注意

- ・内がまで玄米を洗わない。
内がまのフッ素樹脂塗装の摩耗などの原因になります。

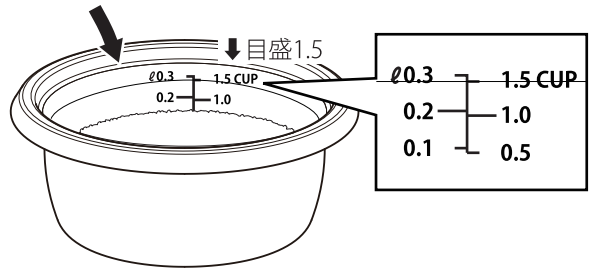
3. 水を切って、ボウルから内がまに移して水位目盛に合わせて水を入れ、塩をひとつまみ加える

米を内がま内に平らにならし、水位目盛に合わせて、水を入れてください。

- ・水加減により、炊き上がりの硬さを変えることができます。

(例) 1カップの玄米を炊く場合

塩：ひとつまみ



例：1カップの玄米を炊くときは、水位目盛1.5まで水を入れる。



警告

- 1.5CUP目盛よりも多く内がまに水を入れない。
やけど・火災・感電・故障の原因になります。

4. 白米を炊く場合の 4.～9. と同様の手順(P.6～8)で炊く

お手入れと保存



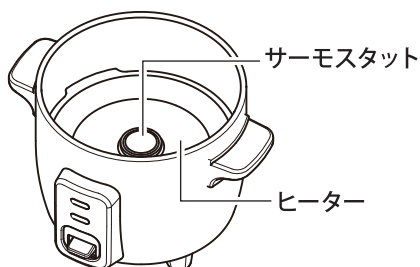
警告

- ・ 本体は水につけない。
- ・ 必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体の温度が下がってからお手入れを行なう。

本体のお手入れ

本体から内がまを取りはずし、内部に残っている汚れやカスなどを取り除いてください。

※ 本体が冷めたあともサーモスタットとヒーターが熱い場合があるため、注意してください。



本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）



注意

- ・ ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉ではふかない（変色や変形の原因）。
- ・ オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
プラスチックを変色、変形、破損させる原因になります。

本体以外のお手入れ

本体以外（内がま、ガラスふた、しゃもじ、計量カップ）はすべて水洗いすることができます。

水洗い後、水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

※ ガラスふた、しゃもじ、計量カップは熱に弱いいため、熱湯でお手入れしないでください。



注意

- ・ 洗うとき、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
内がまのフッ素樹脂塗装のキズ・摩耗・剥離の原因になります。
- ・ 内がまが濡れたまま本体に戻さない。
故障・感電の原因になります。
- ・ 食器洗浄機・乾燥機を使用しない。

修理・サービスを依頼する前に

 **警告**

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・ 電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む
炊き上がったものに焦げ付きができる	・ 洗米したあと、長時間炊飯にできなかった	洗米後、30～60分以内に炊飯するようにする
	・ 蒸気口がふさがっている	ふさいでいるものを取り除く
炊き上がったものが・かたい・やわらかい・芯がある	・ 米の量や水加減を間違えた	正しい量・水加減にする
	・ 内がまの裏などに汚れがこびりついている	汚れをきれいに取り除く
	・ 蒸らし時間がたりない	10分ほどは蒸らすようにする
	・ 標高の高い場所で調理した	標高が高くなると沸点が下がり、芯が残りやすくなります
炊飯中にふきこぼれる	・ 米の量や水加減を間違えた	正しい量・水加減にする
炊飯時間が長い	・ 米の量や水加減を間違えた	正しい量・水加減にする
蒸気もれる	・ ガラスふたが斜めになっている	ガラスふたを水平に置く
ごはんが炊けていない	・ 炊飯スイッチが途中で切れた	もう一度炊飯スイッチを入れる

長年ご使用の炊飯器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。



このような症状の時は、事故防止のため、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

⚠ 警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、ご購入の販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

●補修用性能部品について

1. 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年間です。

アフターサービスについてわからないことは…

ご購入の販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00（祝日以外の月～金曜日）

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井第2家電サービスセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社ドウシシャ

www.doshisha.co.jp